

「挑戦・友愛・創造」

串間市立串間中学校 校長 平田 史士

自主・自学・自力を身に付けよう！

↓【校内に展示してある生徒作品】↓

第2学期 終業式

○コロナ禍で迎えた2学期は、例年と違った学期となりました。生徒たちにとって学校生活の中でも、楽しみなイベントである体育大会は、規模を縮小し、午前中のみで開催で、保護者の観覧者も制限をさせていただきます。文化発表会・合唱コンクールは中止となり、未だに全校生徒で校歌を一度も歌っていません。



※1年生に上級生の素晴らしい校歌を聞かせたいです。

また、職場体験も中止したり、給食は班を作って食べることなく、全員が黒板を向いて食べています。しかし、そんな中であっても、中体連秋季体育大会、ウォークラリーや生徒会立会演説会・役員選挙等、コロナと共に形を変えながらも実施した行事もありました。2学期は長く、行事も多く、一番落ち着いた学期ですが、これらの行事を経験することで、生徒たちは一步一步確実に成長しています。

終業式では、各学年代表生徒3名と生徒会代表生徒1名が、2学期の反省を発表してくれました。3年生はいよいよ高校入試に向けた大切な時期を迎えます。後悔しないためにも、計画的に「自学」にしっかり取り組んで、「行きたい高校に合格」できるよう、過ごしてください。

コロナに負けない集会

【体育館内が教室のような雰囲気でした】

○全国でコロナの感染者が増える中、医療従事者や感染者に対しての偏見や差別・いじめ・心無い発言が後を絶ちません。

そこで、11月24日(火)に、「コロナウイルスに負けない宣言」を発信した取り組みの一環として、新旧生徒会役員による「コロナに負けない集会」を実施しました。「病気にならないために…!」「不安にならないために…!」「差別をうまないために…!」という3つのテーマで、体育館内に全校生徒が集まり、意見交換を行い、その後各教室で「自分にできること」を書いて、各教室に掲示しました。

体育館内が一つの大きな教室といった雰囲気、活発な意見交換や発表する姿を観ることで、生徒の成長と、頼もしさを感じた時間となりました。



よいお年をお迎えください

○令和2年「子年」もまもなく終わり、新しい年「丑年」を迎えます。

今年は、「当たり前が当たり前でなくなった」一年となりました。しかし、生徒たちは、「こんな時だからこそ、串間市民に恩返しをしたい!」と、マスクやシトラスリボンの贈呈、コロナウイルスに負けない宣言を発信してくれました。また、保護者の皆様には、日頃から本校へのご支援、ご協力をいただいていることに対しまして、改めまして感謝申し上げます。

コロナ禍ということもあり、クリスマスや年末・年始に集まっていた、ご家族や親戚、友人とも会えないかもしれませんが、「みやざきモデル」を意識してお過ごしください。1月6日(水)には、全校生徒みんなが元気に登校してくれることを願っています。

※裏面に「みやざきモデル」を載せてます。

